



おまち

Vol. 146

“官民連携もうねりが大事”号

2025. 1. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課企画推進係



(仮称)館林駅東エリアプラットフォーム



官民連携でまちなか再生！

- まちなか再生に向けた官民連携の取り組みについて
～ (仮称) 館林駅東エリアプラットフォーム～
- 官民連携まちづくり ～廃墟再生マルシェが見つけた温泉街の魅力～

【投稿】ボランティアと協働で公園づくり

【マーチィ'sROOM】

- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
- マーチィVOICE まちづくりプレイヤー紹介
- マーチィの掲示板 景観法制定20周年記念シンポジウム・令和6年度全国景観会議全体研修会 参加レポート
- 県内で行われるイベントの紹介
- マーチィの独り言

【まちづくりイベント情報】





まちなか再生に向けた官民連携の取り組みについて ～(仮称)館林駅東エリアプラットフォーム～

館林市 都市建設部 区画整理課

館林市には約550年前に城沼を天然の要塞として「館林城」が築かれ、館林駅の東側は城下町として栄え、武家屋敷や町屋が軒を連ねていました。

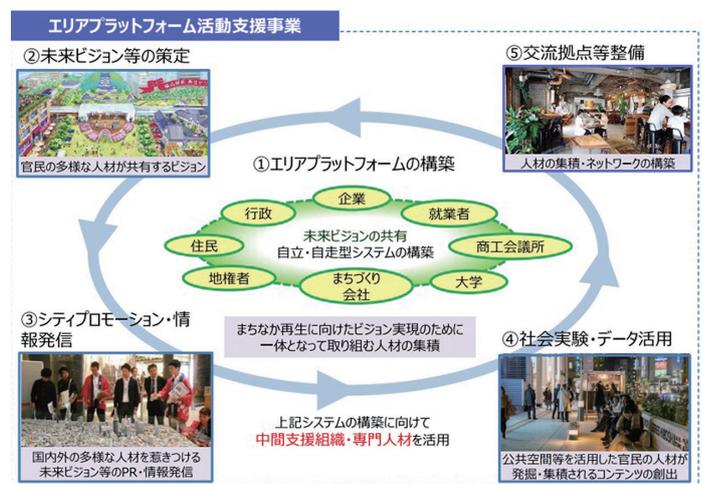
明治時代を迎えると鉄道の開通や近代産業の振興などにより製粉業や織物業が発展し、それとともに館林駅周辺にもぎわいを見せ、商業施設や文化施設等が立地し経済活動・市民活動の中心として市街地を形成してきました。

このような歴史を持つ市街地は、戦災による家屋の焼失を免れたため今でも歴史的な建造物や当時の区割りが残り、市の特色の一つであるとともに訪れた人々にも歴史を感じさせてくれています。

また、多くの公的不動産が立地しており、公共施設や公園等多様な機能を担っていますが、施設の老朽化や人口減少、都市の郊外化により低未利用となっているものも多く、まちなかのぎわいが失われつつあるなど課題もあります。

そこで館林市では、官民の多様な方々とまちなかの再生に向けた目指すべき将来ビジョンやその実現に向けた取り組みを話し合う、「エリアプラットフォーム^{*1}」の構築を目指しています。

^{*1} エリアプラットフォーム…行政を始めまちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、商店街、商工会議所、住民、事業者などが集まってまちの将来像を議論・描き、その実現に向けた取り組みについて協議・調整を行う場



(<https://www.mlit.go.jp/toshi/system/#kanminsaisei>)

■ これまでの官民連携まちづくりの取り組みについて

これまで、館林市ではリノベーションまちづくりや道路空間の柔軟な活用を目指した「ミチカツ社会実験」(道路空間へのキッチンカー出店)、市街地の公的不動産の利活用をつないだ「つなぐ・まちなかフェス」などに官民連携で取り組み、「家守^{*2}会社」の誕生や民間事業者による遊休不動産へのシェアスペース、コワーキングスペースの開業など、まちなかのぎわいにつながる事業を進めてきました。(※²家守…江戸時代、地主・家主に代わってその土地・家屋を管理した。近年はエリアマネジメントを行う「家守会社」も増えています。)

ほかに、令和4年度には民間事業者や市民団体と行政でエリアプラットフォームの構築に向けた「情報連絡会」を開催しただけでなく、「館林市市民センター(館林旧市庁舎)」での民間提案制度を活用したトライアル・サウンディングを行うなど、多様な事業者・団体と連携しながら公的不動産の活用をスピード感を持って推進しているところ です。



ミチカツ社会実験の様子



市民センター(旧市庁舎)



市民センター1階の活用



■ 現在の取り組みについて

館林駅東エリアには先ほど紹介した市民センターのほかにも歴史的な建造物や公的不動産が数多くあり、これらの有効活用は行政の課題であるとともに、その魅力を活かしたいという民間事業者の想いもあります。

そのため、令和6年度はエリアプラットフォームの構築とエリア内にある公的不動産や歴史的建造物の利活用に向けたワークショップなど、2つの取り組みを重点的に取り組んでいます。

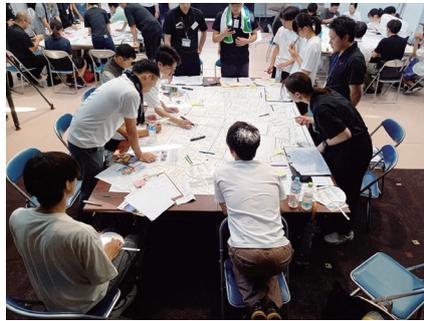
まず、プラットフォームの構築ではこれまで3回の準備会議を開催し、構築の目的や他市の事例、行政・事業者が抱える課題の共有などを行い、対話をしながら準備を進めています。

次に、今年の7月に開催した「まち歩きワークショップ」では、高校生を含む約40名の参加者がまちなかの魅力や残したい風景、変えた方がよい場所などについて意見を出し合いました。

その中でも歴史的建造物が多く残るエリアでは、建物の利活用や周辺の街並みについて活発な意見交換がなされ、今後はまちなかの将来ビジョンの議論やワークショップで出されたアイデアを深掘りするため、具体的なビジョンの検討や利活用に向けてワークショップを実施していく予定です。



準備会議の様子



ワークショップの様子

■ 官民のコミュニケーションについて

現在取り組んでいるエリアプラットフォームは多様な人材がフラットな立場で集まり、行政を始めとしたそれぞれの立場で抱える課題の解決や将来ビジョンの実現に向けて取り組むことはもちろん、お互いの支援が柔軟かつスピーディに行える情報共有の場としても機能させていく必要があります。

プラットフォーム構築に向けた準備会議においてメンバーの事業者から「Slack」というアプリケーションが情報共有ツールとして提案され、行政職員と事業者、団体がつながる仕組みを導入し円滑なコミュニケーションが図れるようになりました。

その結果、会議などの正式な通知は電子メールなどを活用しますが、その前段の日程や概要の情報やメンバーそれぞれが訪れたイベントや他のまちの事例共有などが格段にスムーズになったと感じています。

また、「飲みニケーション」というスレッドも立ち上がり、オン・オフ問わずメンバーがつながる場ができました。

■ 最後に

エリアプラットフォームの取り組みはそれぞれのまちが抱える課題や魅力、ステークホルダーが異なることから、他市の事例を参考にしても正解とは限りません。そのため、行政職員も可能な限りまちへ飛び出し、変化していくまちの様子や事業者、市民団体等の取り組みや悩みなどの情報を敏感にキャッチする必要があります。試行錯誤しながらにはなりますが官民がフラットな立場で議論し、まちなかの再生に取り組んでいきたいと考えています。

まずは市民センターを始めとした歴史的建造物の魅力に触れていただけたらと思いますので、皆さんもぜひ館林市にお越しください。



旧二業見番組合事務所



官民連携まちづくり ～廃墟再生マルシェが見つけた温泉街の魅力～

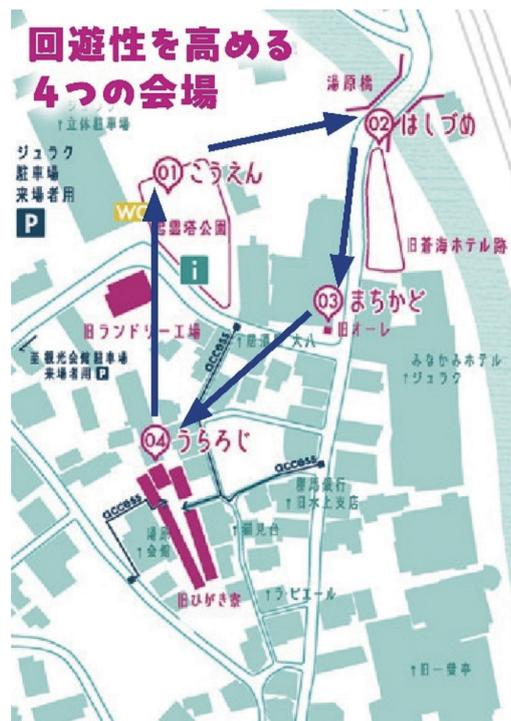
みなかみ町 企画課

みなかみ町では、東京大学大学院、株式会社群馬銀行、株式会社オープンハウスグループと「産官学金」包括連携協定を2021年に締結し、水上温泉街の廃墟再生プロジェクトに取り組んでいます。温泉街の5つの「ヒロバ」(①水上駅・SL広場周辺 ②忠霊塔公園・旧蒼海ホテル周辺 ③旧一葉亭・温泉公園周辺 ④観光会館・水上公民館周辺 ⑤道の駅水紀行館周辺)から“まち”を再生することを計画しており、③旧一葉亭・温泉公園周辺では先行して大規模な廃墟の解体・減築と活用・再生に向けた議論が進められています。



作戦会議の様子

これらの取組を発信し、エリアの新たな魅力を掘り起こすことを目的として、2024年9月22日(日)・23日(祝月)の2日間に、3回目となる「廃墟再生マルシェ」を開催しました。今回のマルシェは ②忠霊塔公園・旧蒼海ホテル周辺の「こうえん」「はしづめ」「まちかど」「うらろじ」の4つの会場で開催し、来場された方々にみなかみの自然と食と体験を楽しんでいただきながら、各会場や温泉街を回遊していただくことを目指しました。今回も東京大学の学生たちが中心となって会場作りや出店者との調整など様々な事前準備を重ね、みなかみの将来性を感じさせる魅力的な“まち”が作り出され、2日間で約4,500人の方々が訪れるなど、温泉街は大いに賑わいました。



開催に向けては、地域に暮らす方や温泉街でホテルや飲食店などに従事する方などを交えた作戦会議を計6回開催し、地域の方々と一緒に作り上げていくことを大事にしました。

【こうえん】

忠霊塔公園と旧ランドリー工場からなる「こうえん」会場では、日中はお昼ご飯を食べたり、ワークショップを楽しむ家族連れで賑わい、夕方には地元の方々がビールを片手にベンチでくつろぐ姿が見られました。また隣接する20年以上倉庫となっていた旧ランドリー工場は、部分的にリノベーションを行い、おしゃれなカフェと旧一葉亭の再生のあゆみを展示したギャラリーへと生まれ変わりました。





【はしづめ】

湯原橋のたもとから旧蒼海ホテル跡の一带に作られた「はしづめ」会場では、来場者の方々が利根川の川音を聞き、谷川岳を眺めながら、ティータイムを楽しみました。



【まちかど】

かつてはアイスクリーム屋さんだった「オーレ」は長い年月を経て、街角で人々が出会うカフェに生まれ変わりました。古さと新しさが調和した内装が東大チームと地域住民のワークショップにより生み出されました。

【うらろじ】

第1回の廃墟再生マルシェから会場となっている旧ひがき寮では、2024年6月から、「まるごとアトリエプロジェクト(仮)」がスタートし、ワークショップ形式で内装を改修したり、土間作りもチャレンジするなど、ものづくりやアートなど「モノ・コトが生まれる場所」として活用する取り組みが進んでいます。廃墟再生マルシェ当日は、来場者が部屋のふすまの絵付けをするワークショップを体験しました。



報告会の様子

今回で3回目となった廃墟再生マルシェ。10月に開催された成果報告・意見交換会では、マルシェの今後の継続方法や各会場の将来像、移住や温泉街への出展希望者へのアプローチ、将来充実させるべき温泉街の施設や機能などについて話し合いが行われました。来年には「温泉街ガイドライン(仮)」を制作し、より魅力的な温泉街の再生に取り組んでいきます。

会場で実施したアンケートにおけるマルシェに対する評価、温泉街の印象、今後の関わり方についての主な回答は次のとおりです。

- 会場として利用されている建物や場所、裏路地が魅力的だった
- 廃墟再生の取り組みやコンセプトが共感できた
- 廃墟や空き家などを活用して魅力的な温泉街をつくる可能性を感じた
- 歴史を知ることによって温泉街の風景が魅力的に感じられた
- 運営ボランティア、出展者として関わりたい
- みなかみ町への移住、温泉街への出店を考えたい



@HAISAI_MINAKAMI
廃墟再生プロジェクト
Instagram





ボランティアと協働で公園づくり

群馬県立敷島公園パークマネジメントJV

去る11月22日(金)、県立敷島公園管理事務所1階多目的室にて「第1回ボランティア交流会」を実施いたしました。

県立敷島公園では現在、複数の団体や学生、主婦など様々な分野の総勢約200名近くの方々がボランティア活動を行っています。活動内容は ①園内花植え・②花壇のお手入れ隊・③クリーニング隊・④スポーツイベントのアシストの4つで、各々の団体が、それぞれの時期や内容で個々に活動しています。

今回の交流会は、それぞれが県立敷島公園をはじめ県内各所で行っているボランティア活動の現状や困りごとなどを発表し合い、お互いを知り交流を深める場の提供を目的に行いました。交流を深める事でお互いの特徴や得意分野を知り、今後より効果的により有意義に活動していただく事ができるのではないかと考えたからです。

参加された皆様のお話を伺ってみると、学校での学習支援・学生消防団による清掃活動や消防についての啓蒙活動、スポーツイベントの手伝いや子ども食堂での活動等、活動の幅は広く多岐に渡るものでした。



開会にあたりご挨拶する公園職員



参加者による自己紹介の様子

また、オブザーバーとしてお越しいただいた前橋福祉協議会ボランティアセンターのお話を伺ってみても、昨今のボランティア活動も今まで以上に幅が広がり、フリースクールでの学習支援や子ども食堂等子供に関わるもの・高齢者や身寄りのない方を個別に支援するもの・SDG'Sに関連するものなどが挙げられ、社会の中でのボランティアの需要の多さや分野の広がりを感じました。しかしながら、活動を希望する側と求める側をマッチングする機会が少なく、活動の機会損失が課題になっていることも問題として浮かび上がってきました。

当公園では地域防災をキーワードに、地域とのゆるやかな連携を進めています。話題提供として公園としての今後の課題等をお話したところ、園内防災マップの作成・自衛隊による体験会・地域住民と連携した炊き出し練習会・防災についての勉強会の開催等、嬉しいことに、ボランティアとの協働活動のアイデアが次々と提案されました。まずはこのような会を継続して実施することを前提に、防災マップ作りから手掛けてみましょうと意見が一致しました。

群馬県では2029年に第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会「湯けむり国スポ・全スぽぐんま」が開催されます。当公園でのボランティア活動が、このようなビックイベントに主体的に関わるきっかけになるかもしれません。今回の交流会は最初の一歩にすぎませんが、未来に向けた大いなる一歩となるように、今後も県立敷島公園、そして公園を核とした敷島エリアの地域づくりにボランティア活動の皆さまと共に尽力して参ります。



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「パークナイズ 公園化する都市」著 馬場正尊 飯石藍 小川理玖 菊地純平 木下まりこ 中島彩 和久正義
編 Open A+ 公共R不動産(学芸出版社)



今号のおすすめ
ライブラリーはこちら!



公園というどいういったイメージを持っていますか?子ども用の遊具があり、遊べたり、芝生広場や池があり、その周りをジョギングできたり、緑が豊かでくつろげるような空間をイメージするのではないのでしょうか。

昨今、Prark-PFI(公募設置管理制度)を活用し、公園内にカフェなどが設置され、公園の利便性や魅力の向上に寄与しています。

この本の第1章では、公園と何かを掛け合わせ、空間の可能性を広げる取組を「公園×〇〇」として紹介し、それぞれのプロジェクトにおいて、整備や運営スキームがどのようになっているか示されています。第2章では、公園と見立てる空間をサイズ別に分け、その空間はこんな使い方ができるのではないかと妄想アイデアが掲載され、第3章には実践者のインタビューがまとめられ、当事者の声も知ることができます。

この本を読むことで、様々な空間を公園に見立てて、魅力的な場にする実践者になりたくならないのでしょうか。アイデアを妄想するだけでも楽しめます。

マーチィ VOICE

●まちづくりプレイヤー紹介●

伊勢崎市 地域おこし協力隊 関口咲季子

私は伊勢崎市のいわゆるまちなかと言われる地域(伊勢崎駅から商店街周辺)の活性化をミッションとして掲げ、令和5年4月から活動しています。

伊勢崎のまちなかには地名の由来にもなった深い歴史があり、その歴史に誇りを持ち生活している地元の方々があります。私はそのようなまちなかの魅力を移住してから知る機会が増えました。そして、この地域の魅力や特色を自分がまずさらによく知ること、その情報を多くの人に発信することを活動の柱のひとつとしています。情報発信を続けていくことで、まちなかやまちづくりに興味を持ってくれる方が増えればと考えています。

また、趣味である読書から広がって、本に関する活動をしてみたいという考えがありました。地域の方にもご協力いただき、今年4月と11月に、「のっばらマルシェと本とコーヒー」というイベントを企画・開催しました。4月には図書館近くの広場を利用し、11月には商店街にある広場と空き店舗をお借りして開催しました。群馬県内の本に関する活動を行っている方々と繋がれたほか、地域の人たちにもイベントとしての地域の活用方法を提案でき、充実した1日となりました。

今後も情報発信を進め、地域の方と協力しながら伊勢崎での活動を続けていけたらと考えています。



まちなか
イノベーター
Instagram

11月は商店街の空き店舗をお借りして開催しました

マーチィの掲示板

「景観法制定20周年記念シンポジウム・令和6年度全国景観会議全体研修会」参加レポート

群馬県 都市計画課 景観形成係 藤田 瑛子



10月31日・11月1日に、鳥取県で行われた研修会に参加してきました。

1日目は講演とシンポジウムで、景観法に関するこれまで振り返りと、今後に向けた問題提起、事例発表等が行われました。

2日目は現地研修会に参加しました。中でも「倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区」は、江戸時代後期から繁栄した商家の町並みが当時の面影を残しており、赤瓦などの地域的特徴を備えた町家や白壁の美しい土蔵が立ち並んでいます。大正以降、産業の衰退により空洞化が進んだものの、地元の方々による保存活動や行政の後押しにより、古い町並みを今に残しているそうです。倉吉市の職員の方の解説付きで現地を巡りましたが、地元の方の熱意・意向を大切にしながら、共に町を大切に守っていこうという意識が伝わってきたのが印象的でした。

初めての鳥取訪問でしたが、残念ながら有名な砂丘に行く時間は取れませんでした。食べ物美味しく(「モサエビ」や「とうふちくわ」、お土産屋さんにも山積みになっていたうさぎ型銘菓も美味!冬はカニだそうです!),私はぜひとも再訪し、砂丘とグルメを楽しみたいです。



まちづくり イベント情報



たんばらスキーパーク営業中!

良質なパウダースノーと高品質のレンタルグッズが魅力で誰でも気軽にお越しいただけます!

■令和6年11月30日(土)~令和7年5月6日(火・祝)※予定

リフト運行時間:8:30~16:00

※土日祝及び12月30日(月)~1月3日(金)は8:00~16:00

■群馬県沼田市玉原高原

【お問い合わせ先】

玉原東急リゾート

たんばらスキーパーク

TEL 0278-23-9311



妙義山「天空のイルミネーション」

イルミネーションが冬の妙義山を幻想的な雰囲気演出します。

■①令和6年12月8日(日)~令和7年1月13日(月・祝)

②2月14日(金)~16日(日)

①17:30~21:00

②18:00~21:00

■道の駅みょうぎ周辺

【お問い合わせ先】

一般社団法人富岡市観光協会

TEL 0274-62-6001



富岡製糸場フランスウィーク ~シルク文化の スピリットと出会う~

富岡製糸場誕生のルーツにあるフランスとの交流を体験するイベント。

■1月11日(土)~24日(金)

イベントにより変動あり。

詳細は特設HPを参照。

■富岡製糸場、富岡市内

【お問い合わせ先】

世界遺産劇場実行委員会事務局

info@sekaiisangekijyou.com



おしらせ

伊勢崎市景観まちづくり講演会(令和6年度景観講演会) 映像を通しての地方文化の発信

~メディアが欲する群馬の魅力~

景観まちづくりに関する講演会を、清水紀枝氏をお招きして伊勢崎市で開催します。ぜひお越しください。

【日時】2月12日(水)13:30~16:00(開場13:00)

【会場】人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター 小ホール
(伊勢崎市境木島818)

【申込】事前申し込みは不要です。直接会場へお越しください。
(定員150名)

【共催】伊勢崎市・群馬県・群馬県都市計画協会

【問い合わせ先】群馬県都市計画課 TEL:027-226-3652

参加
無料

■講演プログラム■

13:00 受付開始

13:30 開会
市長あいさつ

13:35 伊勢崎市
景観まちづくり賞
表彰式

14:20 トークイベント

15:20 パネルトーク・
質疑応答

16:00 閉会



清水 紀枝氏
(伊勢崎市出身、(株)ハウフルス テレビ制作 執行役員、「秘密のケンミンSHOW極」チーフプロデューサー)

総合建設コンサルタント

株式会社 アイ・ディー・エー I.D.A

コンストラクションマネジメント/インフラメンテナンス/都市計画・まちづくり/
防災・減災事業/指定管理事業など、官民連携に関わる広範囲な事業展開



官民連携事業でお困りの際は、当社までお気軽にご相談ください。



県立公園アイ・ディー・エー群馬の森
指定管理者 (令和6年度~)

群馬県高崎市倉賀野町4221番地13
TEL 027-384-6600
FAX 027-384-6601
URL:https://www.ida-web.jp

マーチの独り言



新年、明けましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしでしょうか?

2025年は「巳」年ですが、正確な干支は「乙巳(きのとみ)」となります。

乙は草木がしなやかに伸びる様子を表すことや、巳は蛇のイメージで「再生と変化」を意味することなどから、乙巳の年は新しいものが生まれ成長していく年とされています。

今年も新しい情報をどんどん発信していきたいと思っておりますので、引き続き「おっ!!まっちい~」をよろしくお願ひします!

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】群馬県県土整備部都市計画課企画推進係

TEL 027-226-3661 URL https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html

